

# 台風・集中豪雨に備えよう

これまでも台風や集中豪雨により大きな被害に見舞われており、多くの命や貴重な財産が失われてきました。自然現象である台風・集中豪雨は、発生そのものを防ぐことはできませんが、市民一人ひとりの心がけと行動によって、被害を軽減することは可能です。いざという時に適切な行動がとれるようにしておきましょう。

## 日ごろの備え

- 「いざ」というときに備えて、貴重品、非常食、救急医薬品などは、いつも整理・補充しておきましょう。
- 家の周りや屋根などを点検し、必要な箇所は修理しておきましょう。
- 各地区などで開催される防災訓練や会合には積極的に参加し、避難場所や避難経路について、日ごろから確認しておきましょう。

## 台風が近づいたら

- テレビやラジオ、インターネットで最新の台風情報を確認し、台風の進路、大きさ、風雨の強さを把握しましょう。
- 懐中電灯、携帯ラジオ、救急医薬品、非常食などの「非常持出品」を点検し、リュックサックなどに入れて準備しましょう。
- 窓や雨戸をしっかりと施錠し、看板、植木、アンテナなどは風に飛ばされないように補強するか、家の中に取り込みましょう。
- あらかじめ被害の予想される地域では、早めに安全な場所へ避難しましょう。

## 避難するときは

- 火災や盗難を防止するため、火元の点検と戸締まりを確実にしましょう。
- 慌てずに警察官や消防士等の指示に従って行動しましょう。
- 避難勧告や避難指示が間に合わない場合もあるので、危険を感じたら、身の安全を第一に考えて、荷物などにこだわらず素早く避難しましょう。
- 避難は安全に行うことを忘れてはいけません。夜間は周囲の状況が分かりにくく、雨が激しい時や冠水した道を歩いて避難するのはかえって危険な場合があります。避難所に避難するのではなく、自宅や近くの頑丈な建物の上の階に逃げるのも選択肢の一つです。

## 防災ひとくちメモ～避難情報～

災害の発生が差し迫り避難が必要になった場合には、市から次の情報が発令されます。

- 避難準備・高齢者等避難開始  
避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される場合で、避難に時間を要する人（ご高齢の方、乳幼児等）とその支援者は避難を開始しましょう。
- 避難勧告  
災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合に発令されます。速やかに避難所へ避難をしましょう。
- 避難指示（緊急）  
災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険が迫っている場合に発令されます。発令された対象地域でまだ避難していない方は、直ちに避難行動に移ってください。

問 危機管理課 ☎ 63-0951 / 宿毛警察署 ☎ 63-0110

有料広告

JA全農こうち指定

命の鍵を握っているのはシロアリです。

地震の際、シロアリ被害を受けた建物は倒壊の危険が増し、人命が失われる恐れがあります。



友清白蟻

高知市前里70番地3  
☎ (088) 824-1501



きびきび避難の「きびなごくん」